広報つるが　令和２年６月号
No.940（令和２年５月12日発行）

つるがで輝くあの人を紹介

まちのキラリびと

▲スタッフの皆さん（神楽広場でのお弁当配布活動）

大変なこともあるけど、
やりがいがいっぱい。

こども食堂 青空　代表
中村（なかむら）　幸恵（ゆきえ）さん（54）

子ども達に「つながり」という財産を！

「こども食堂 青空」では、毎月２回子ども達と調理をし、一緒に食事をする活動をしています。また、宿題をしたり、遊んだり、工作や手芸などを楽しんだりと、気軽に通ってもらえるような安心安全な場所づくりを心がけています。

平成27年９月の第１回目の活動から、早５年目になりました。始めたきっかけは、雑誌で「子ども食堂」についての記事を見て、どの地域にも「多世代交流の場」が必要だと感じたからです。子ども食堂は、「子どもだけ」の食堂ではなく、子育て中の親御さんや高齢者にとっても大切な場所だと感じています。

大変なこともありますが、「子ども達の笑顔」と「支えてくれている心強いスタッフの存在」が励みになっています。子ども達には、一緒に作って食事をすることで、人とのつながりを作ってもらいたいと願っています。人との関係が希薄化している今だからこそ「つながり」を作って一生の財産としてもらいたいです。

新しい取組みにもチャレンジしていますが、まだまだ子ども食堂の存在や目的の周知不足を感じています。もっとみなさんに知ってもらい、誰もが気軽に集える場所になるように、ぜひお気軽に活動を見に来てください。

まちの宝を発見！

つるが歴史遺産

変化していく
漆は「今だけ」
の魅力です！

案内人
学芸員　中野 拓郎

基本情報

種別：重要文化財
（明治34年３月指定）
正保２年（1645年）建立
所在地：曙町

氣比神宮大鳥居

受け継がれていく敦賀の「色」

正保２年（１６４５年）建立の大鳥居は、おくのほそ道の旅で敦賀に訪れた松尾芭蕉や、戦前の欧亜国際連絡運輸を行き交う人びと、昭和20年の敦賀空襲とその後の復興など、３７５年間の敦賀を見守り続けてきました。

大鳥居は木造ですが、常に風雨や直射日光にさらされています。そのため、およそ30年ごとに表面の朱漆の塗り直しを行うことで、現在の姿を維持してきました。前回の修理は平成29年度で、工事は今までの古い漆を一旦剥がすところからはじまり、下地づくり、下塗り、中塗り、上塗りに至るまで、実に20工程以上の手間をかけ、表面を円滑に、また全体の色合いが均一になるよう、天然の日本産漆により昔ながらの手作業で施工されました。

天然素材である漆塗りの色は、中に含まれる酸化鉄などの金属製顔料に光が当たることによって色合いが変わる特徴があり、太陽の位置や日射しの色によって様々な発色をします。次の修理までには建立から４００年目を迎えることになりますが、その間、変わらずにある大鳥居の姿と、時間や季節により変化していく漆の色合いを楽しまれてはいかがでしょうか。

広報担当者のつぶやき

初めて広報紙作成に携わった５月号の校了で、ほっと一息もつかの間。６月号に向けて、慣れない編集ソフトや一眼レフカメラの使い方に悪戦苦闘しながらの１か月でした。

一方で、取材を通じて、知らなかったことをお聞きすることは楽しいなと感じた１か月間でした。（K）

いつまで続くかわからない不安やストレスで、コロナ疲れがたまってきている方も多いかと思います。７頁にお家でできるストレス解消法などを紹介しているので参考にしてみてください。ちなみに私は、最近流行っているオンライン飲み会を初めてやってみました。思っていた以上に楽しかったので、仲間内で楽しみたい方はぜひお試しください。（M）

発行：敦賀市　編集：秘書広報課
印刷：若越印刷株式会社

〒914-8501 福井県敦賀市中央町２丁目１番１号
TEL 0770-22-8112／FAX 0770-22-8170
E-mail kouhou@ton21.ne.jp

●広報つるが　毎月第2火曜日発行
●行政チャンネル（RCN 091ch）
毎日６時～24時放映（週３回入替）
●市政広報ラジオ（敦賀FM放送 77.9MHz）
平日４分番組・12回放送
●HP https://www.city.tsuruga.lg.jp/